

5市消防は

平成15年4月

衣浦東部広域連合に



出動態勢の強化と 予防行政の充実

安城市、碧南市、刈谷市、知立市及び高浜市の5市は、3月市議会で、5市の消防業務を統合して対応するため、衣浦東部広域連合の設立を決定しました。

広域連合設立によって、約400人の組織体制となる消防局が発足し、総合的な消防力の充実・強化を図り高度な消防サービスを提供します。

消防団については、引き続き、それぞれの市の消防団としますが、火災時の消火活動や教育訓練などについては、広域連合が消防団と連携をとります。

災害発生時に尊い生命や貴重な財産を守るためには、1分・1秒でも早く災害現場に消防隊・救急隊が到着することが不可欠です。災害現場に一番近い消防車や救急車が出動し、時間短縮を図ります。

一般住宅の火災では、消防署から初期に消防車6台、救助工作車1台、救急車1台の合計8台が出動し、さらに火災の規模や種類によって消防車、はしご車、化学車などが出動し

ます。また、住民生活の安全と安心を守るために、防火査察体制を強化し、防火対象物の安全性を確保します。火災予防条例などに基づく各種届け出などは、いずれの消防署でも受け付けをします。

刈谷市小垣江町に 本部事務所を建設

本部事務所は刈谷市小垣江町西高根（衣浦豊田線（国道419号）沿い、刈谷市消防署南部出張所南隣）に置きます。今年度、鉄筋コンクリート造り2階建て、面積約860平方メートルの建物を建設し、通信指令室や事務室などを配置します。

広域連合議会

広域連合議会の定数は17人で、安城市5人、碧南市3人、刈谷市4人、知立市3人及び高浜市2人で構成します。構成する5市の市議会議員の中から、それぞれの市議会で選挙します。

執行機関など

広域連合長は、構成5市の市長の中から、5人の市長が投票により選挙します。副広域連合長は、広域連合長以外の4人の市長が務めます。助役、収入役はそれぞれ広域連合議会の同意を得て、構成市の助役、収入役の中から選任します。

また、選挙管理委員会を置き、構成市の市議会議員及び市長の選挙権

広域連合の経費負担方法

を有する人で、広域連合議会で選挙した4人で組織します。監査委員は、広域連合議会の同意を得て、優れた識見を有する人及び広域連合議員の中から、それぞれ1人を選任します。

共通経費については、均等割10%、人口割30%、署所職員数割50%、面積割10%により、構成する5市で負担します。

消火栓・貯水槽の整備費及び維持費など単独経費については、当該市が全額を負担します。

広域連合とは

広域的に処理した方が住民サービスにつながる事務や効率的に処理できる事務、単独市では困難な大規模投資が必要となる事務・高度な事務などについて、市町村が連携、補完して行うことに適した制度です。

県内では、平成11年度に発足した知多北部広域連合（東海市・大府市・知多市・東浦町で構成）と昨年発足した西尾幡豆広域連合（西尾市、一色町、吉良町、幡豆町で構成）の2団体があります。

問い合わせ▼広域連合設立準備室（安城市役所内）

